



6月 伏幼だより

伏山台幼稚園



先月は、5月というのに夏日もあり、年々地球が悲鳴をあげていることを切実に感じます。

そんな気候の中でも、子どもたちは元気に色水遊びや、小麦粉粘土など「こんなきれいな色になったー!」「見て見てーアイスクリームできた!」「穴あいたあ、ドーナツみたい♪」と諸感覚を通した遊びを存分に楽しんでいます。

また、園庭に咲いていた花の蜜を吸った子が「1個目は甘いけど、2個目を吸ったら『ウエツ』ってなる」と発見。何気ない生活の一場面ですが、この中にも幼児期の学びに向かう力がはぐくまれています。蜜を吸ってみよう(興味・自分の意志で動く)、1個目を吸って美味しかった(満足感・感動)、もう一回吸ってみよう(満足したことを繰り返す)、2個目を吸ったら美味しくなかった(予想と違う出来事、驚き、発見)、そのことを先生に話す(自分が感じたことを伝える)など。先生は、共感したり、その子の発見を友達に広げたりします。自分の発見が認められ、その子の心はとて満たされ、また発見を楽しむようになります。これは、日々の一例ですが、幼稚園の生活すべてにおいて、先生は子どもたちの姿からこのような力を見取り、次の学びへとつなげています。この見えにくい力(非認知能力)が小学校以降の学びにつながると考えています。

今年度、伏山台幼稚園の合言葉は『みんなHAPPY♡』です。子どもたち、一人一人が毎日心を動かしわくわくして遊び、自分のよさを見つけながら、その子らしく伸びていく。子どもたちのウェルビーイングを高めながら保育を進めていこうと教職員で話し合いました。また、子どもたちだけでなく、保護者の方や地域の皆さまにも子どもたちのウェルビーイングをおすそ分けできたらと思います。今月も地域や保護者の皆さま方のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

園長代理 飯國 佳代子

【育てたいこと】

<3歳児>

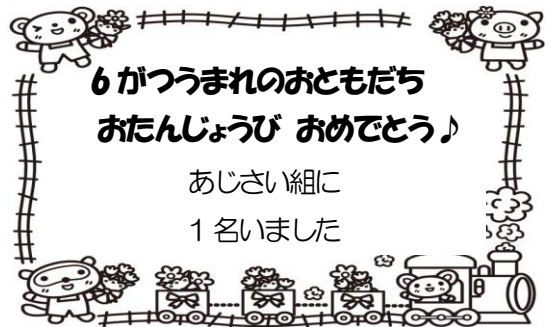
- ・好きな遊びを見つけ、教師や同じ場所にいる友達と楽しむ。
- ・身の回りのことを自分なりにしようとする。
- ・梅雨期の小動物を見たり、触れたりして親しみをもつ。

<4歳児>

- ・梅雨期の小動物や自然現象に興味や関心をもつ。
- ・友達と遊ぶ楽しさをわかり始めると同時に、自分の気持ちを伝えようとする。

<5歳児>

- ・友達と思いを伝え合いながら遊び、試したり工夫したりする喜びを感じる。
- ・梅雨期の生き物や栽培物、自然事象に興味・関心をもつ。



6がつうまれのおともだち

おたんじょうび おめでとう♪

あじさい組に

1名いました

お知らせ

- ・降園時に、職員室前のお知らせボードを必ず確認してください。
- ・毎日ズボンのポケットにハンカチ、ティッシュを入れてきてください。

石田尚美園長が5月末までお休みさせていただく予定でしたが、引き続き8月31日まで休職させていただくこととなりました。保護者の皆さまには、大変ご迷惑をおかけいたしますが、全職員で力を合わせて教育活動を進めてまいりますので、どうぞご理解・ご協力をお願いいたします。